

【的中問題！】一部ご紹介致します！

大原：公開模擬試験－第9問

ある中小企業では、仕入記録のリレーショナルデータベース化を検討している。次の表を第3正規形まで正規化を行った場合、いくつの表に分割されるか。最も適切なものを下記の解答群から選べ。解答は問9へマークせよ。

伝票番号	製品番号	製品名	仕入単価	仕入先番号	仕入先名	仕入数量
H001	KJ01	ケーブル	5,000	A001	A社	1
H002	KJ02	配電盤	10,000	B001	B電気	4
H002	KJ01	ケーブル	5,000	B001	B電気	2
H003	KJ01	ケーブル	5,000	A001	A社	3
H003	KJ04	蛍光管	1,000	A001	A社	12
H004	KJ03	アンテナ	20,000	C001	C工業	5

本試験：第8問

以下に示す表は、ある小売店が利用している受注管理表の一部である。この表に関する正規化の観点からの記述として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。ただし、枝番は1回の受注で商品コード別に連番で発行される番号であるとし、単価は商品コードによって一意に定まるものとする。

受注番号	枝番	受注日	得意先コード	商品コード	販売数量	単価
10001	1	2023-04-01	9876	P101	1	30,000
10001	2	2023-04-01	9876	P201	2	15,000
10001	3	2023-04-01	9876	P301	5	10,000
10002	1	2023-04-02	5555	P201	1	15,000
10002	2	2023-04-02	5555	P401	3	20,000

大原：公開模擬試験－第23問

UML (Unified Modeling Language) は、開発中のオブジェクト指向システムの成果を定義し、視覚化し、文書化するための言語である。

以下の①～④に示すUMLの概要とその名称の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。解答は問23へマークせよ。

- ① システムが持つ機能を表現
- ② オブジェクトの相互作用を時間経過に沿って表現
- ③ システムの構成要素とその相互作用を静的に表現
- ④ 業務手順、ワークフローを表現

[解答群]

- ア ①：ユースケース図 ②：クラス図 ③：シーケンス図
④：アクティビティ図
- イ ①：クラス図 ②：シーケンス図 ③：ユースケース図
④：コミュニケーション図
- ウ ①：ユースケース図 ②：シーケンス図 ③：コミュニケーション図
④：アクティビティ図
- エ ①：シーケンス図 ②：ユースケース図 ③：クラス図
④：コミュニケーション図
- オ ①：クラス図 ②：シーケンス図 ③：相互作用概観図
④：アクティビティ図

本試験：第17問

システム開発に利用されるモデリング手法には、DFD、ER図、UMLなどがある。それぞれの手法に関する記述として、最も適切な組み合わせを下記の解答群から選べ。

- a DFDは、データの流れてに着目して対象業務のデータの流れて処理の関係を記述する。
- b ER図は、システムの状態とその遷移を記述する。
- c UMLにおけるアクティビティ図は、システムが提供する機能を記述する。
- d UMLにおけるシーケンス図は、オブジェクト間の相互作用を時系列に記述する。
- e UMLにおけるユースケース図は、業務や処理の実行順序を記述する。

⑥ 経営情報システム

【総評】

令和5年度の本試験は、近年の設問数と同じ25問であり、そのすべてが昨年と同様5肢択一の問題であった。比較的取り組みやすかった昨年よりも難易度が高くなったと思われる。

出題形式では、空欄補充問題3問（昨年1問）、用語と説明の組み合わせ3問（昨年2問）、正しいものの組み合わせ3問（昨年8問）、計算問題4問（昨年2問）など例年になく多岐にわたっている。

出題の分野別内訳を見ると、概ね第1問～第14問が情報通信技術に関する基礎的知識、第15問～第25問が経営情報管理の出題である。特徴を列挙すると、次のとおりである。

- ①時事問題・最新の内容の出題がある（第4問の半構造化データ、第15問の情報化社会の将来像など）。
- ②確実な知識で正解を絞り込むことができる問題が出題されている。
- ③情報処理技術者試験などでも出題されている専門的な内容も出題されている（第1問のフラッシュメモリなど）。
- ④定番のシステム開発方法論やテストの出題がなかった。

経営情報システムは、難易度のばらつきが大きい科目であるが、正解すべき問題、適切・不適切な選択肢について、基礎知識をフル活用しつつ、選択肢間の関係も視野に入れて選択・削除できる力が求められる。

（情報通信技術に関する基礎的知識）

第5問（DBMS）、第8問（正規化）、第9問（SQL）、第10問（ストレージ技術）、第12問（LANを構成する装置）などは正解したい問題である。

（経営情報管理）

第17問（モデリング手法）、第22問（ネットワークセキュリティ）などは正解したい問題である。また、第16問（OLAP）や第23問（リスク）などもできれば正解したい問題である。

以上